

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
1、大災害が起こった際、瀬戸市は本当に市民を守れるのか 【質問趣旨】 1995 年 1 月 17 日に発生した阪神淡路大震災から 30 年が経過し、近年では、2011 年 3 月 11 日に東日本大震災、2016 年 4 月 14 日に熊本地震、2024 年元旦に能登半島地震と、ほぼ 5 年周期で大規模な地震が発生しています。 さらに、2025 年 9 月に発表された南海トラフ地震の発生確率は、今後 30 年以内に 60～90％程度と予測されています。 (続く)	(1) 支援物資について	① 大規模災害発生時、支援物資の輸送は被災地にとって不可欠です。地域内輸送拠点である尾張東地方卸売市場までの輸送経路が寸断したなどの理由で、想定経路が通行できない場合に備える必要があると考えますが、空路（ヘリコプター）などの代替輸送の手段は確立されているのか伺います。 ② 発災直後から 1 週間程度までは食糧供給が特に重要となる期間です。市が用意した支援物資が滞りなく被災した市民に届かなければ、準備した計画が機能したとは言い難いものとなります。尾張東地方卸売市場から、避難所などへ届ける輸送経路が寸断するなどの理由で、想定経路が通行できない事態への備えが不可欠であると考えますが、そうした想定について伺います。 ③ 災害時における民間物流事業者（トラック、倉庫業者）との緊急輸送協定の具体的な内容（提供車両の種類、台数、燃料供給、ドライバーの確保）はどのようなになっているか伺います。 ④ 冷凍・冷蔵が必要な医薬品や要配慮者向け食品、特にアレルギー対応食、えん下困難者用食品、乳児用ミルクなどは、適切な温度管理と迅速な輸送が不可欠です。命に関わる重要なものであり、通常の支援物資とは異なる特別な配慮が必要となりますが、輸送するための特殊車両の確保計画があるのか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
これまでの大規模地震で被災された地域の皆さんが困窮され、憔悴（しょうすい）した状況から瀬戸市が学ぶべきは、「いかに有事に備えるか」という視点であり、これは机上論ではなく、実践的な取り組みが求められます。 そこで、今回は瀬戸市の現状を確認したうえで、抜け目ない備えとしていくための課題を提起させていただき、課題を解決し市民の安全が実感できるものにすることを期待して、市の見解を伺います。		⑤ 支援物資輸送車両やヘリコプター等に必要な緊急時燃料の優先供給（給油所との協定や備蓄）は、被災地支援活動の生命線となります。緊急時燃料供給体制は確立されているのか伺います。 ⑥ 災害発生直後、通行可能な道路情報や、物資輸送のリアルタイムな状況（どこに、何の物資があるか）を、関係機関（県、国、警察、消防、自衛隊）と共有することは、迅速かつ効果的な救援活動を展開する上で極めて重要ですが、この共有するための通信手段とシステムは確保されているのか伺います。 ⑦ 全国や近隣の自治体では、外部からの応援を円滑に受け入れ、災害対応を迅速かつ効果的に実施できるよう、必要な基本情報、体制、手順などを定めておくことを目的とした、「災害時受援計画」を策定しています。本市には策定する必要や予定はないのか伺います。
	(2) 避難所及び食糧について	① これまで発生した大規模地震では、発災直後から1週間程度までの食糧や居場所の確保が想定を超えてしまう事態が頻発していましたが、有事の際の12万5千人の市民の食糧や安全な居場所の確保について伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 罹災証明について	② 家屋の倒壊や避難経路の寸断といった予測不能な事態が発生した場合、平常時に想定していた避難所や避難経路が使用できなくなる可能性があります。その状況においても、市民に対しては迅速かつ安全な居場所への移動手段の確保が必要です。目的の避難所までたどり着けない場合に備えて、さらに多くの避難所や避難経路を用意することが有効と考えますが、そうした多様な選択肢を設ける想定について伺います。 ③ 大規模災害で被災した市民が身を寄せる避難所の開設については、豪雨などであれば事前準備ができると思いますが、大地震では不可能であり、行政職員自身が被災し、避難所の鍵を開けに行けないケースや、避難所までの道路が寸断され、職員がたどり着けない事態も考えられます。 他方で、自治会などに開錠をお願いするにしても、依頼先が被災して開錠できないことも想定しなければならないとも言えます。実際に能登半島地震では、避難所の鍵が開かず、住民が窓ガラスを割って避難した事例も報告されています。そうした想定外を想定内にする対策について、どのように考えているのか伺います。 ① 大規模災害が発生した際の対応について、被災された市民への罹災証明の発行が滞らないようにすることは、復興への第1歩につながりますが、迅速な対応にはマンパワーが不可欠です。しかし、甚大な被害が発生した場合、行政職員自身も被災者となり、事務対応が困難になることが想定されます。そうした状況に対して、どのような解決策を考えているのか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		② 罹災証明書の被害認定調査員は、現在何名確保できており、そのうち専門的な研修を受けた行政職員は何名いるのか伺います。 ③ 他部署からの応援職員や、他自治体からの派遣職員の受け入れ計画はどのようなになっているか、併せて、その応援職員への研修及び訓練は適切に行われているか伺います。 ④ 直近の大規模地震や集中豪雨に被災した住民への罹災証明の発行事務で、対応する職員によって評価が変わる等の事例をマスコミが取り上げていました。そうした矛盾が生じると、被災による疲弊と失望感をさらに大きくしてしまうことにつながるため、市外からの応援者にもわかりやすいマニュアルなどの整備が不可欠と考えますが、整備の有無について伺います。
	(4) 地区防災計画について	① 各地域で策定される「地区防災計画」は、策定済みの地区と未策定の地区があるようですが、なぜ策定が進まないのか伺います。 ② 未策定の地区のうち、特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害リスクが高い地域は何箇所あるか、併せて、これらの地域で計画がないことが、初動体制や避難行動にどのような具体的なリスクをもたらすと認識しているか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

13 番	中川昌也 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 課題解決に向けた取組について	③ 地区防災計画策定の加速に向けて、策定作業を支援するため、地域の防災士やNPO、または外部のコンサルタント（ファシリテーター）を積極的に活用し、行政職員の負担軽減とスピードアップを図る計画はあるか伺います。 ④ 他の自治体では、計画策定に補助金を出して、複数の想定外の対応策を何重にも記した計画を、住民とともに作成されているところもあるようですが、地区防災計画を策定加速させるため、補助金支援の考えはないのか伺います。 ① いつ発生するか誰にも予測できない大規模災害への備えに正解はありませんが、他自治体の様子見や国・県任せではなく、自らがどうしたら良いのかを考え、実行することが必要だと思います。市民の命と生活を守る信念がなければ、有事の際に手遅れとなります。市長が率先して課題解決へ取り組むことが求められますが、今後どのように実践されるのか市長のお考えを伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。